

2026年度食と農の総合研究所 研究プロジェクト申請書

申請日： 年 月 日

研究代表者 氏 名	<フリガナ>	所属	
	<漢字等>	職名	
		E-Mail	@
研究課題	日本語		
	英 語		

研究種別	☐ 共同 ☐ 個人
------	---

研 究 組 織（研究代表者及び研究分担者）				
氏 名	所属・職名	現在の専門	役割分担	*エフォート（%）
			研究代表者	

※ エフォートとは、研究者の年間の全仕事時間を100%とした場合の当該研究の実施に必要とする時間の配分率（%）をいう。なお、「全仕事時間」は研究活動の時間だけでなく、教育活動等を含めた実質的な全仕事時間であることに留意してください。

研 究 経 費（概算）				
研究期間全体の経費を記入してください（千円未満は切り上げて記入してください）。 2026年度分については、研究経費（詳細）欄にも記入が必要です。				
		2026 年度	2027 年度	総計
使用内訳 （千円）	用品費			
	消耗品費			
	資料図書費			
	印刷製本費			
	郵便費			
	出張旅費			
	交通費			
	業務委託費			
	支払手数料・報酬			
	兼務職員費			
	謝金			
	諸会費			
	備品費			
総計（千円）				

*この1枚の頁におさめてください。

1 研究目的、研究方法、研究計画など

本欄には、本研究の目的と方法などについて、本頁を含め**4頁以内**で記述すること（本文は11ポイント以上の大きさの文字等を使用すること。以降の項目においても同じ。）。

冒頭にその概要を簡潔にまとめて記述し、本文には、(1)本研究の学術的背景や本研究の着想に至った経緯、研究課題の核心をなす学術的「問い」、(2)本研究の目的および学術的独自性と創造性、(3)関連分野の研究動向と本研究の位置づけ、(4)本研究で何をどのように、どこまで明らかにしようとするのか、(5)本研究の目的を達成するための準備状況、(6)本研究がどのような国際性（将来的に世界の研究をけん引する、協同を通じて世界の研究の発展に貢献する、我が国独自の研究としての高い価値を創出する等）を有するかについて具体的かつ明確に記述すること。

本研究を研究分担者とともに行う場合は、研究代表者、研究分担者の具体的な役割を記述すること。

概要 ※10行程度で記述すること。

本文

- (1) 本研究の学術的背景や本研究の着想に至った経緯、研究課題の核心をなす学術的「問い」
- (2) 本研究の目的および学術的独自性と創造性
- (3) 関連分野の研究動向と本研究の位置づけ
- (4) 本研究で何をどのように、どこまで明らかにしようとするのか
- (5) 本研究の目的を達成するための準備状況
- (6) 本研究がどのような国際性（将来的に世界の研究をけん引する、協同を通じて世界の研究の発展に貢献する、我が国独自の研究としての高い価値を創出する等）を有するか

【 1 研究目的、研究方法、研究計画など（つづき）】

【 1 研究目的、研究方法、研究計画など（つづき）】

【 1 研究目的、研究方法、研究計画など（つづき）】

2 応募者の研究遂行能力及び研究環境

応募者（研究代表者、研究分担者）の研究計画の実行可能性を示すため、(1)これまでの研究活動（主要な研究実績を含む）、(2)研究環境（研究遂行に必要な研究施設・設備・研究資料等を含む）について本頁を含め**2頁以内**で記述すること。

「(1)これまでの研究活動」は、本研究計画の実行可能性を示すよう、本研究計画に関連した研究活動を中心に記述すること。また、研究分担者がいる場合には、その想定される役割に関連した研究活動を中心に記述すること。研究活動を中断していた期間がある場合は、その説明などを含めてもよい。

研究業績（論文、著書、産業財産権、招待講演等）は、網羅的に記載するのではなく、本研究計画の実行可能性を説明する上で、その根拠となる文献等の主要なものを適宜記載すること。

研究業績の記述にあたっては、当該研究業績を同定するに十分な情報を記載すること（例として、学術論文の場合は論文名、著者名、掲載誌名、巻号や頁等、発表年（西暦）、著書の場合はその書誌情報など）。

論文は、既に掲載されているもの又は掲載が確定しているものに限って記載すること。

(1) これまでの研究活動

(2) 研究環境（研究遂行に必要な研究施設・設備・研究資料等を含む）

【 2 応募者の研究遂行能力及び研究環境（つづき）】

3 人権の保護及び法令等の遵守への対応

本研究を遂行するに当たって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など指針・法令等（国際共同研究を行う国・地域の指針・法令等を含む）に基づく手続が必要な研究が含まれている場合、講じる対策と措置を、本頁を含め1頁以内で記述すること。

個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査・行動調査（個人履歴・映像を含む）、提供を受けた試料の使用、ヒト遺伝子解析研究、遺伝子組換え実験、動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続が必要となる調査・研究・実験などが対象となります。

該当しない場合には、その旨記述すること。

4 研究経費（2026 年度）

※ 研究計画に基づく経費を千円単位で記入してください。千円未満は切り上げて記入してください。

科 目	予算要求額（千円）	内容・積算基礎（単価×数量） 具体的内容（使途等）
兼務職員費 （アシスタントスタッフ）		
用品費支出 （1 万円以上 20 万円未満）		
消耗品費 （1 万円未満又は耐用年数 1 年未満）		
資料図書費		
印刷製本費		
郵便費		
出張旅費		
交通費 （講師等交通費、研究会など の招聘研究者の国内移動に限 る）		
業務委託費		
支払手数料・報酬 （講師等謝礼）		
謝金（短期アルバイト）		
諸会費		
備品費 （20 万円以上） ※備品費は研究費合計の 90%以下であること		
その他		
合 計		

*この 1 枚の頁におさめてください。

5 研究業績

本欄には、研究代表者及び共同研究者が最近5カ年間に発表した論文、著書、産業財産権、招待講演のうち、本研究に関連する重要なものを選定し、現在から順に発表年次を過去にさかのぼり、発表年（暦年）毎に線を引いて区別し、通し番号を付して記入してください。なお、学術誌へ投稿中の論文を記入する場合は、掲載が決定しているものに限ります。

また、研究業績については、主に2021年以降の業績を中心に記入してください。それ以前の業績であっても本研究に深く関わるものや今までに発表した主要な論文等（10件以内）を記入しても構いません。

- ① 例えば発表論文の場合、論文名、著者名、掲載誌名、査読の有無、巻、最初と最後の頁、発表年（西暦）について記入して下さい。
- ② 以上の各項目が記載されていれば、項目の順序を入れ替えても構いません。著者名が多数にわたる場合は、主な著者を数名記入し以下を省略（省略する場合、その員数と、掲載されている順番を○番目と記入）しても構いません。なお、研究代表者には二重下線、共同研究者には一重下線を付して下さい。

■研究者氏名：○○ ○○
(2025 年度以降)

(2024 年度)

(2023 年度)

(2022 年度)

(2021 年度)

6 (研究代表者の) 研究費の応募・受入等の状況・エフォート

「研究資金の不合理な重複や過度の集中にならず、研究課題が十分に遂行し得るかどうか」を判断する際に参照するところです。本人が受け入れ自ら使用する研究費を正しく記載していただく必要があります。

本応募課題の研究代表者の応募時点における、(1)応募中の研究費、(2)受入予定の研究費(3)その他の活動について、次の点に留意し記入してください。なお、複数の研究費を記入する場合は、線を引いて区別して記入してください。

- ①「応募中の研究費」欄の先頭には、本応募研究課題を記入してください。
②「2026年度エフォート」欄には、年間の全仕事時間を100%とした場合、そのうち当該研究の実施等に必要となる時間の配分率(%)を記入してください。

(1) 応募中の研究費

資金制度・研究費名 (研究期間・配分機関等名)	研究課題名 (研究代表者氏名)	役 割 (代表 or 共同)	2026 年度の 研究経費 (千円)	2026 年度エ フォー ト(%)	研究内容の相違点及び他 の研究費に加えて本応募 研究課題に応募する理由
【本応募研究課題】 食と農の総合研究所研究プロ ジェクト (2026～ ・龍谷大学)		代表			

(2) 受入予定の研究費

資金制度・研究費名 (研究期間・配分機関等名)	研究課題名 (研究代表者氏名)	役 割 (代表 or 共同)	2026 年度の 研究経費 (千円)	2026 年度エ フォー ト(%)	研究内容の相違点及び他 の研究費に加えて本応募 研究課題に応募する理由

(3) その他の活動

上記の応募中、応募予定及び受入予定の研究費による研究活動以外の職務として行う研究活動や教育活動等のエフォートを記入してください。

合 計

上記(1)、(2)、(3)のエフォートの合計

100
(%)